



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 株式会社 エスライン
 コード番号 9078 URL <http://sline.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 山口 嘉彦
 (氏名) 白木 武
 TEL 058- 245- 3131

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 11,917 | 1.1 | 185 | 46.1 | 232 | 40.7 | 157 | 43.3 |
| 2022年3月期第1四半期 | 12,055 | 3.8 | 343 | 209.3 | 392 | 153.0 | 277 | 161.3 |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 80百万円 (66.9%) 2022年3月期第1四半期 244百万円 (24.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 14.48 | |
| 2022年3月期第1四半期 | 25.57 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 41,099 | 25,588 | 62.3 |
| 2022年3月期 | 41,643 | 25,660 | 61.6 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 25,588百万円 2022年3月期 25,660百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 8.00 | | 14.00 | 22.00 |
| 2023年3月期 | | | | | |
| 2023年3月期(予想) | | 8.00 | | 14.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 25,000 | 4.5 | 678 | 19.9 | 724 | 13.6 | 474 | 8.5 | 43.70 |
| 通期 | 50,000 | 3.6 | 1,720 | 30.8 | 1,770 | 23.6 | 1,140 | 18.0 | 105.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2023年3月期1Q | 11,095,203 株 | 2022年3月期 | 11,095,203 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2023年3月期1Q | 248,987 株 | 2022年3月期 | 249,587 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期1Q | 10,845,922 株 | 2022年3月期1Q | 10,841,534 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

期末自己株式数には取締役に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」および当社の一部のグループ会社社員対象の株式給付制度「株式給付信託(J-ESOP)」のために設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期1Q 130,600株、2022年3月期 131,200株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2023年3月期1Q 130,894株、2022年3月期1Q 135,296株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及や行動制限の緩和等により、社会経済活動は回復に向けた動きがみられたものの、7月に入り再び感染者数の拡大、ロシアのウクライナ侵攻の長期化による資源価格の高騰、中国主要都市でのロックダウン等の影響もあって、先行きは極めて不透明な状況となっております。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、緊急事態宣言の解除やワクチン接種が進んだことにより、徐々にではあるものの景気の回復とともに貨物輸送量も増加するものと期待しておりましたが、円安、資源高による諸物価の高騰により、貨物輸送量は鈍化したままの状況となりました。さらに、原油価格の高騰により軽油価格が高値で推移していることや、労働時間の規制対応に向けた労働環境の改善等の課題も多く、当社グループを取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境のもと、当社グループでは、本年度を初年度とする中期経営計画（テーマ：「ありがとう創造計画」）を新たに策定し、経営目標達成と企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益119億17百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益1億85百万円（前年同期比46.1%減）、経常利益2億32百万円（前年同期比40.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億57百万円（前年同期比43.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔物流関連事業〕

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業等があります。主なサービス部門として「輸送サービス」「物流サービス」「ホームサービス」があります。

トラックによる企業間輸送を主とする輸送サービス部門では、経済活動の正常化に向け取り組みが進められているものの、あらゆる商品の値上げや先行きに対する不安感から消費活動が進まない状況が続いております。また、貨物輸送量につきましても、出荷主様における内製化の動きがさらに進んだこと等もあり、以前のような状況には戻らず、昨年に比べては僅かな増加、配送単価は減少傾向となりました。収入面では、燃料高騰に対応するために燃料サーチャージ收受や料金改定の交渉を進めてまいりましたが、減収となりました。

商品保管や物流加工を行う物流サービス部門では、昨年開設した新倉庫での保管貨物の増加や、㈱スリーエス物流の第3センターにおける菓子類の取り扱い量も好調を維持しておりますが、一方で、海外におけるロックダウン等の影響で、コンテナの入荷も不安定な状況が続いたこと、商品の出荷に遅れが出たことで、加工業務は想定していた取り扱い量には至らず低調に推移し、減収となりました。

家電配送・設置業務や大型貨物の個人宅配を行うホームサービス部門では、本年3月に㈱エスラインギフにて戸田センターを開設し配送エリア等の拡大を図りましたが、一昨年の特別定額給付金による買い替え特需以降配送量はなかなか伸びず低調な状況となっております。

また、引越しサービスにおきましては、4月度は引越し需要が好調であったものの、それ以降は伸び悩んだことから、ホームサービス部門全体では、減収となりました。

経費面では、生産性や効率改善に努め、あらゆる経費の削減に取り組みましたが、慢性的なドライバー不足の影響もあって、配送業務に関する外注費用や、新施設に関する減価償却費、施設使用料が増加となりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は117億22百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は2億85百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

〔不動産関連事業〕

不動産関連事業におきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は1億12百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は62百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業および売電事業を営んでおります。旅客自動車運送事業におきましては、クラブ・サークル活動等の遠征や冠婚葬祭時の送迎業務が、行動制限緩和等により一部回復したことで、増収となりました。

また、売電事業におきましては、㈱エスラインギフの名古屋第1・第2センター、豊橋支店、豊田支店、豊田センターおよび㈱スリーエス物流の本社第1センターの計6か所で発電を行っております。（総発電量1,333.96kW）

この結果、その他事業の営業収益は82百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結資産合計は410億99百万円となり、前連結会計年度末比5億43百万円減少しております。この主な要因は受取手形及び営業未収入金の減少と投資有価証券の時価評価額の減少によるものであります。

また、連結負債合計は155億10百万円となり、前連結会計年度末比4億71百万円減少しております。この主な要因は借入金の返済による減少と未払法人税等の減少によるものであります。

連結純資産合計は255億88百万円となり、前連結会計年度末比72百万円減少しております。この主な要因はその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました当第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,957 | 4,087 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 5,748 | 5,390 |
| 貯蔵品 | 73 | 66 |
| その他 | 776 | 883 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 流動資産合計 | 10,554 | 10,426 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,805 | 12,625 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,821 | 2,685 |
| 土地 | 12,080 | 12,082 |
| リース資産（純額） | 82 | 79 |
| 建設仮勘定 | 431 | 431 |
| その他（純額） | 228 | 214 |
| 有形固定資産合計 | 28,450 | 28,118 |
| 無形固定資産 | 151 | 158 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,379 | 1,297 |
| 退職給付に係る資産 | 218 | 219 |
| 繰延税金資産 | 121 | 121 |
| その他 | 779 | 768 |
| 貸倒引当金 | △12 | △10 |
| 投資その他の資産合計 | 2,486 | 2,395 |
| 固定資産合計 | 31,088 | 30,672 |
| 資産合計 | 41,643 | 41,099 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 5,072 | 5,135 |
| 短期借入金 | 230 | 230 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,229 | 1,103 |
| 未払法人税等 | 183 | 90 |
| 賞与引当金 | 491 | 575 |
| 役員賞与引当金 | 36 | 8 |
| 設備関係支払手形 | 1 | 7 |
| その他 | 1,220 | 1,133 |
| 流動負債合計 | 8,466 | 8,284 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,635 | 1,381 |
| 繰延税金負債 | 2,419 | 2,390 |
| 役員退職慰労引当金 | 56 | 57 |
| 株式給付引当金 | 42 | 47 |
| 役員株式給付引当金 | 25 | 29 |
| 退職給付に係る負債 | 2,424 | 2,407 |
| 資産除去債務 | 630 | 631 |
| その他 | 281 | 280 |
| 固定負債合計 | 7,516 | 7,226 |
| 負債合計 | 15,982 | 15,510 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,237 | 2,237 |
| 資本剰余金 | 2,959 | 2,959 |
| 利益剰余金 | 20,018 | 20,021 |
| 自己株式 | △251 | △250 |
| 株主資本合計 | 24,964 | 24,968 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 368 | 305 |
| 繰延ヘッジ損益 | 153 | 144 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 174 | 170 |
| その他の包括利益累計額合計 | 696 | 620 |
| 純資産合計 | 25,660 | 25,588 |
| 負債純資産合計 | 41,643 | 41,099 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日） |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 12,055 | 11,917 |
| 営業原価 | 11,259 | 11,265 |
| 営業総利益 | 796 | 652 |
| 販売費及び一般管理費 | 452 | 466 |
| 営業利益 | 343 | 185 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 15 | 15 |
| 受取賃貸料 | 6 | 6 |
| 助成金収入 | 14 | 16 |
| 持分法による投資利益 | 3 | 3 |
| その他 | 15 | 10 |
| 営業外収益合計 | 55 | 53 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 3 |
| 債権売却損 | 3 | 2 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 6 | 5 |
| 経常利益 | 392 | 232 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7 | 11 |
| 受取保険金 | 18 | — |
| 特別利益合計 | 26 | 11 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 418 | 244 |
| 法人税等 | 141 | 86 |
| 四半期純利益 | 277 | 157 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 277 | 157 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 277 | 157 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △67 | △63 |
| 繰延ヘッジ損益 | 33 | △8 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | △4 |
| その他の包括利益合計 | △33 | △76 |
| 四半期包括利益 | 244 | 80 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 244 | 80 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「追加情報」に記載した「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更はありません。

（セグメント情報）

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|-------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 物流関連 事業 | 不動産関連 事業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 11,862 | 112 | 11,974 | 81 | 12,055 | — | 12,055 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,862 | 112 | 11,974 | 81 | 12,055 | — | 12,055 |
| セグメント利益 | 431 | 58 | 490 | 17 | 507 | △163 | 343 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△163百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|-------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 物流関連 事業 | 不動産関連 事業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 11,722 | 112 | 11,834 | 82 | 11,917 | — | 11,917 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,722 | 112 | 11,834 | 82 | 11,917 | — | 11,917 |
| セグメント利益 | 285 | 62 | 348 | 11 | 360 | △174 | 185 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△174百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。